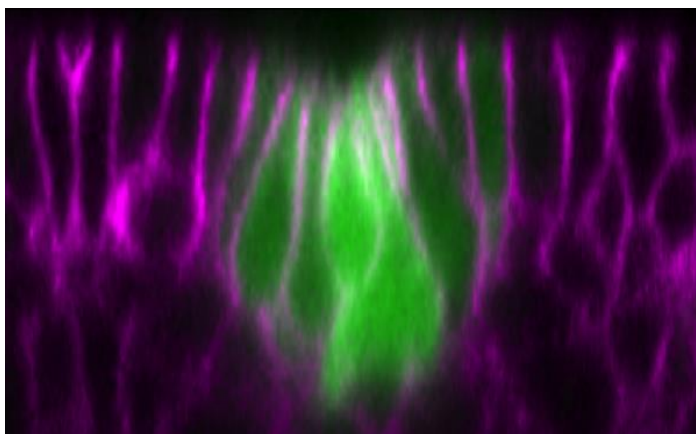


連携大学院 **学部生向け特別セミナー**

2015年 6月9日(火) 14:00~16:00 本部棟201号室

理化学研究所 多細胞システム形成研究センター (CDB)

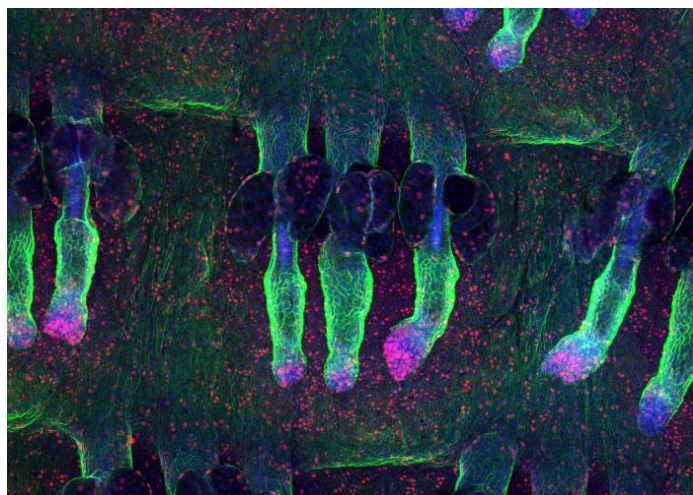


林 茂生 「動物組織のかたちができるしくみ」

動物の発生は受精卵から細胞シートで覆われた球体(胞胚)が生じることから始まり、細胞シートの伸長、折りたたみ、潜り込みなどの過程を経て様々な臓器を持った個体がつくられます。細胞シートが様々な形状の立体構造に変換される発生プロセスを紹介し、そのしくみの解明にむけた最新の研究について紹介します。

藤原 裕展 「幹細胞を支える細胞外環境」

幹細胞は各組織を構成する様々な細胞の源となる細胞で、自身を複製する自己複製能と、多様な細胞に分化する多分化能を併せ持ちます。幹細胞は、幹細胞を取り巻く特殊な細胞外環境(幹細胞ニッチ)との相互作用により、その性質が制御されています。本講義では、生体の発生と再生に欠かせない幹細胞と幹細胞ニッチについて、最新の研究内容を交えてご紹介いたします。



ライフサイエンス技術基盤研究センター



清成 寛

「マウスと発生工学」

実験動物は様々な研究分野で利用されていますが、その中でもマウスは、飼育や繁殖の容易さ、妊娠期間が短く、多産であることに加え、発生工学技術の確立により、多くの研究に利用されています。特に遺伝子改変マウスの出現は、医学、生命科学において革命的な進歩をもたらしました。本講義では遺伝子改変マウスの歴史から作製法に至るまでを、最先端の発生工学技術と共に

紹介します。

兵庫県立大学連携大学院の3人の先生方に、**発生・再生科学の最先端**を‘わかりやすく’解説していただきます。**3回生・4回生以外に、大学院生、教員、その他の方々も是非、参加をお待ちしています。**

世話人：八田公平